

2012年1月10日(火)
聖クリストファ幼稚園

☆ クリスマスだより ☆

冬休み前の12月15日、神さまのみ守りの内に、「クリスマス礼拝・祝会」をおこなうことができました。春先にはまだまだ先のことだと思っていた「アドベント」に入り、クリスマスを迎えられ、子どもたちやおうちの方々、ご来賓の皆さま、教職員と一緒にお祝いできましたお恵みに、感謝のきもちでいっぱいのうれしいひと時でした。おうちの方々には、様々なご理解やご協力をいただきまして、どうもありがとうございます。

よろこびにあふれた日から1ヵ月近く経ちました。各学年の準備や当日の様子についてのエピソードをお伝えします。思い起こしながらお読みいただけますと、うれしく思います。

赤グループ「赤ちゃん、イエスさまに会いに行こう!!」

担当：赤坂 崇子
今井 葉子

幼稚園に入って初めて迎えるクリスマス。

今までは、プレゼントをもらうクリスマス。だったけれど、

今年から、「イエスさまをお迎えするクリスマス」。子ども達と一緒に、考えて準備をした「アドベント」でした。

赤ちゃんイエスさまに
会いに行こう!! ☆

聖なる夜のお話を
聞いて、喜びを分かち
合う動物になりました。

♪「お星が光る」
♪「メリークリスマス」

2曲も、すぐに覚えて
楽しく歌をおさげ
できました。

📦 おうちの方へのプレゼント
「チクリリース」

赤グループさんは、2学期までには、
色々なことを経験しました。

- ・クレヨンの使い方
- ・スビーの使い方
- ・絵の具の使い方
- ・のりほり

その集大成(?)、絵皿で作った
「リース」。
心をこめて、好きな色をえらび
作りました。
それぞれ個性が光っています!



ももグループの「メリークリスマス☆」

クリスマスは、
「赤ちゃんイエスさまのお誕生日」。

うまが来て、おめでとう!
ひびも来て、おめでとう!
にわとりも来て、おめでとう!

...とお祝いに来たんだよ。

て、この「先生から「クリスマス物語」の
お話を聞いた子どもたち。「へびも?」
「うさぎも?」「ねこも?」...と目もキラ
キラさせて質問していました。

👉 まぼろのついで「変身するのが大変な
ももグループの子もたちは、「きょうはOOね!!」と
自分たちでうたを歌うようになりました!! 時には、「石」の歌にも☆

👉 準備していた「サンタ帽子」「星のお面」「こぶしの帽子」を袋から出した
時には、「キャ〜」と「はしゃいで」変身しましたよ!! 当日の子もたち
がわいわい「すずね」の子ども、ニコニコイキイキして嬉しかったです。



黄グループ おめでとう+イエスさま

子どもたち10人が一緒になって準備を進め、
当日はとても素敵なお祝いができました。

担当：くまがい みき
おいかわ けいこ

🎵🎶🎵
聖歌 やさしいひつじかい(1番)
あわてんぼうのサンタクロース

やさしくて、大きな声で歌おう!これが
子どもたちと教師の合言葉でした。
歌い始めた頃は、恥ずかしがってなかなか
声が出なかった黄グループ...しかし、
繰り返して歌ううちに自信が付き、
当日は10人とは思えないくらい、1人1人が
堂々と歌うことができました。
「あわてんぼうのサンタクロース」での
絵とタンバリンも、楽しい音色を
響かせてくれましたね!

🌟 プレゼント
まぼろのツリー

「何色のビーズにしよう?」
「もたたくさんつけよう!」
どんなツリーが喜んで
もらえるかな...?と考えるがら
ビーズを一つずつボンボンで
貼りつけました。
世界に1つだけの素敵な
ツリーができました!



アドベントカレンダー

今年度は1人1つ **リース**をつくりました。厚ボール紙に毛糸を巻きつけて…ぐるぐるぐるぐる…は、と見るとどれもこれも同じように見えたかも知れませんが、よく見ると1つ1つ違いました。3色の毛糸から1色選んで巻いた子もいれば、2,3色組み合わせて巻いた子もいて、オリジナルのリースができました。リースの輪には“永遠”という意味があり、輪にはいろいろな意味があるかと思いますが、今回は青グループの子どもたちが**1つ**になって**聖劇**をおさげることができますように…というきもちで、“**調和**”という意味をこめました。1日毎に増えていったリース、膨らんでいたクリスマスへの期待…子どもたちの準備の過程を表しているなと思いつつ、毎日うれしく見ていました。

青グループ

クリスマスおめでとう

子どもたち **24人**、一人ひとりに **クリスマスのお恵み**が

降り注がれたことに感謝を、て…

たくさんの方たちが集まり、青から厳かな雰囲気をつくってくださった中、**年長児 24人**全員がそろう、**聖劇**『クリスマス・ベージェント』をおさげできたお恵みに、心から感謝しています。子どもたちはアドベントに入る約1週間前から**聖話**『クリスマス物語』を聞き始め、毎日こしこし準備を進めてきました。特に、当日の役が決まり、一人一役を担うようになってから当日までの約1週間、子どもたちが自分の役を覚え、心を向けていく様子に、**どの役も必要で、どの子も必要**であると改めて感じました。さ、と、おうちの方たちにも、子どもたちの姿から感じていただけたのではないかと思います。このことを伝えた子どもたち一人ひとりの**4回の方の整括**と青グループ全体の**調和**…とてもすばらしかったです！

いつも私たちと共におられる神さま、みん中りをピラもありがとうございます。



青グループのおうちの皆さま、お集まりのことなど、ご理解とご協力ありがとうございます。

2011年度

聖劇のスタッフ

- ・青木 理美
- ・横部 知恵子 (奏楽他)
- ・今野 志のぶ (舞台兼任)
- ・浅野 千恵 (“)
- ・亀井 ますみ (サポート)

ヨセフさん・マリヤさん

宿屋を訪ねる場面では、ヨセフさんがマリヤさんの手をやさしく引き、マリヤさんがしずしずと付いていく姿が印象的でした。羊飼いや博士の礼拝の場面など、動かすに存在で表現するような場面でも、きもちをこめて丁寧に表現していました。

星さん

歌3曲もナレーションもよく覚えて、声に表していました。幕前に入るタイミングや並び順番など、準備の時に3人で繰り返して確認していた成果が出ていて、息がぴったりでした。

ガブリエルさん・天使さん

ゆ、くり丁寧な歌い、マリヤさんにお告げを授けたり、羊飼いや博士たちにイエスさまご誕生のお知らせを伝えたガブリエルさん。ナレーションも歌もよく覚えて、声に表した天使さんたち。5人一緒に羊飼いや博士たちにお知らせする時に上がった手がうつくしかったです。

羊飼いやさん

ナレーションもあり、歌もうごもたくさんあったのに、よく覚えてできていました。お休みの子がいなくて、7人全員そろったのは数えるくらいでしたが、お休みした子にさりげなく教えてあげてやさしさやお互いに 合わせようとするきもちがとてもステキでした。羊飼いやさんになりました。歩いたり、杖をさすったり草をやるなど、準備に余裕がなかったようです!!

宿屋さん

幕前に出た瞬間、たくさんの方たちを前にして緊張したでしょうに、堂々と歌えていました。ナレーションではイエスさまご誕生の場面を担当して、その情景が思い浮かぶようなゆ、くり丁寧な話し方で話していました。

博士さん

5番まである歌をそれぞれがよく覚えていて、堂々と歌えていました。また、おさげものを持って、姿勢よく歩く姿も、おさげする姿も一つひとつがとても丁寧でした。